

2019年(令和元年)5月18日(土曜日)

書「仮病の見抜きかた」(国松淳和著)

詐病を暴く本ではない。痛みや脱力、発熱などの症状はある。しかし検査で異常が見つからず原因が分からない……。 「仮病」と片付けられかねない10の事例について、医学的ポイントを解説し、その後の経過を短編小説形式で描いた。病気であることすら疑われる



患者の背景に何があり、どう向き合うべきか。東京都内の病院で総合内科専門医として診療する著者は、言動や表情、服装、姿勢など、患者の発するもの全てをよく観察し、感じ取る重要性を説く。

医師との、より良いコミュニケーションを考えるうえで参考になる。

(金原出版 2000円税別)

# 仮病

の見抜きかた

医療法人社団永生会  
南多摩病院 総合内科・膠原病内科  
国松淳和